

荒井嗣雄

第17回テノールリサイタル

ピアノ／荒井真紀子

ソプラノ／和氣千鶴

～イタリアの愛とドラマ・日本の叙情と郷愁を歌う～

プログラム

ヘンデル：樹木の陰で（ラルゴ） A.スカルラッティ：すみれ ジョルダニー：愛しい私の恋人
レオンカヴァルロ：マッティナータ（朝の歌） ドニゼッティ：オペラ「愛の妙薬」より“人知れぬ涙”
プッチーニ：オペラ「ラ・ボエーム」より“冷たき手を”“私の名はミミ”“愛らしい乙女よ”（二重唱）

山田耕筰：鐘が鳴ります、曼殊沙華、赤とんぼ 平井康三郎：九十九里浜 越谷達之介：初恋 服部 正：野の羊 成田為三：浜辺の歌

2021 9 / 23（木・祝）

開場 14:00 開演 14:30

入場無料

穂の国とよはし芸術劇場

PLAT アートスペース

※お問合せ／amabile328@rc4.so-net.ne.jp

※感染対策の為、入場制限をさせていただくことがあります。マスクの着用、手指消毒をお願いします。次に該当する方は、ご来場をお控えください。37.5℃以上の発熱・体調の悪い方、感染者との濃厚接触がある方。また、プレゼントなどのお心遣いはお断りします。悪しからず、ご了承ください。

※やむを得ず、曲目が変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

プロフィール

荒井嗣雄（テノール）

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。東京二期会オペラ研修所修了。「第九」「メサイア」、シューベルトのミサ曲などのソリストや、オペラ「修禅寺物語」「春琴抄」「ラ・ボエーム」「カルメン」、コンサート形式のオペラでは「椿姫」「ルチーア」「コシ・ファン・トゥッテ」などの主演を演じる。東京・名古屋・豊橋・福井においてイタリア歌曲、オペラアリア、日本歌曲、シューベルト：歌曲集「美しき水車小屋の娘」（毎日新聞社評：身上の“強い声で”若々しい勢いで、歌いきっていて、少々粗っぽくはあっても、後味も悪くない。作曲者が志向した青春の歌は当時、このように歌われていたのだろう、とも思われた。）シューマン：歌曲集「詩人の恋」（音楽の友之社評：もちまへの明るい力強さと伸びやかさで感情豊かに描き、新鮮な感覚美が追求されていたようだ。フレーズのテンションを高く保ち、気概に満ちた表現力とあいまって聴き応えがあった。）などのドイツリートやその他、多岐にわたるジャンルで、16回のリサイタルと11回のジョイントリサイタルを開催。また各地において各種コンサートに多数出演。現在、東京二期会会員。

荒井真紀子（ピアノ）

国立音楽大学声楽科卒業。東京二期会オペラ研修所修了。福井と豊橋において荒井嗣雄とのジョイントリサイタルで共演。その後、荒井嗣雄の練習パートナーとして伴奏に携わる。最近では、荒井嗣雄テノール公開録画演奏会（PLAT アートスペース）でのシューベルト：歌曲集「美しき水車小屋の娘」の伴奏や、東京藝術大学音楽学部声楽科卒業同期生との演奏会（品川 五反田文化センター音楽ホール）でも伴奏を務める。

和気千鶴（ソプラノ）

愛知県立国府高等学校卒業。国立音楽大学演奏学科声楽専修卒業。東京音楽大学院声楽専攻オペラ研修領域修了。卒業後は、歌（と読み聞かせ）・ヴァイオリン・ピアノの3人組“ぴっこらかぶりちお”で、クラシック音楽を付けた「絵本コンサート」を開催。自主企画の演奏会他、福祉医療施設の慰問コンサートなどを行う。荒井嗣雄、経種廉彦、水野賢司の各氏に師事。